

2021/10/31 太田山神社と立象山：霊験あらたか？道南の名所山旅

CL澤田、SL小山内、SL長沼、近藤、津村、川村、宇田、太田 天候：快晴風穏やか、気温8-14℃
 太田山神社：距離1.4Km、所要3時間、登り65分、標高差331m、立象山：30分、標高差113m

日本一危険な神社としてその名を知られるせたな町の太田山(おおたさん)神社。海あり山あり崖あり。伊達道の駅から高速利用、国縫から今金町を抜けて140km、2時間弱で旧大成町着。ここから道道740号線(北松山大成線)に入り、日本海沿いに北上。集落とトンネルをいくつか過ぎ断崖の秘境着。由緒ある神社に身も心も清めるべく、大汗流して参詣致しました。決して御利益目当てではありませんよ。



拝殿は海岸ぶちにあります。後ろの岩山に本殿
 1441年創立、1660年代に円空が修行。
 松浦武四郎も来訪、「太田山 大ききりの一筋」
 頼まらざやめや 君の恵みを」



急峻な山崖が海になだれ込む



ヘルメットハーネス着用出発準備
 この時S田氏手袋をなくす。
 後々思わぬところで発見されます。



134段、平均斜度45度
 決意して見上げる



足の置き場がない



階段を過ぎるとどこまで行っても急登です。気の抜けるところはありません。転げ落ちそう。
 ロープ、岩場、はしごの連打に急登大好き直ちゃん大喜び。他のメンバーはひいふう苦しいよ。



途中のお社



急登を登ること1時間、途中小さな祠やお地蔵さんを拝みながら休み休みゆっくりと。崖に設置された網梯子を渡ると本日の核心部「7mの崖、鉄鎖場」が。O山内SL難なく登りロープを設置、後続は沢岩で鍛えた登攀を披露。ここは一人ずつ安全確認しながら10:30頃全員登頂し本殿にお参りを果たした。他パーティーが次々と来るので名残惜しいけれどすぐに下山開始。下りはより慎重に。確保安全確認いただいたS田L、O山内SL、N沼SLに感謝。10年ぶりのハーネス使用のT川さん、フットワーク軽々J子さん、高い所は得意なK藤氏のお三方のなんと身軽な！



これが太田山神社本殿です。神様にお尻を向けているのはどなたかな？「えええ？わたし〜？J子ですう〜」。O山内SLきまっています。カッコいいです。確保ありがとうございます。



本殿は全員入るのがようやくの広さ、岩をくりぬいた？約2名ヤンキー風おじさまが紛れ込んでいます。

本殿より波打ち際に拝殿を見おろすと17km沖合に奥尻島。このあたりが最短距離のようです。念願の参拝を果たし一同大満足のうちに下山開始、下りはより一層急に感じる。膝に来る〜！

太田山神社の神様は猿田彦命。失くしものによく効く神様なのか早速御利益ありましたよ。

朝出発時手袋をなくしたS田氏意外なところにmy手袋発見。O氏のカラビナスリングもご自慢のおnewのGregoryザックから出てきました。無事下山、海やら崖やら眺めながらのランチも最高です。



昼食後道道740号を北上、せたな町の中心部へ。立象山は港のすぐ近く、標高95mの丘。巨象が立っているように見えるから、が由来のよう。またもや階段登場(しかも560段)。「車で行こうよ」なんて言ったのは誰かな？山頂からは360度の展望を楽しみました。

S田氏の視線の先に手袋発見。Gregoryのザックはポケットいっぱいいてカラビナが行方不明に。



立象山公園は展望台、キャンプ場、眺め最高。来年はここでキャンプなどいかがでしょう？左カスベ岳、右メップ岳、風車の向う雪を戴いた狩場山、つぎはあの山へ！ 太田記 写真提供感謝